

7.28・8.23 集中豪雨 間瀬と

～大きなツメあと

山手地区を直撃

残す～

被害状況

① 7.28被害

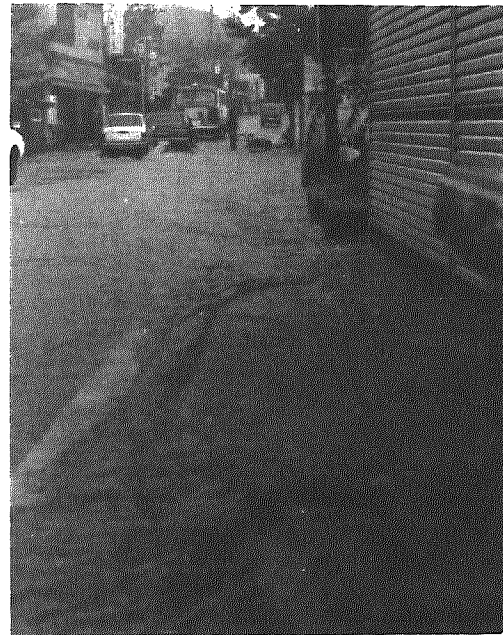
分		区		被害	
建物被害	住家	床上浸水	21棟	11世帯	37人
	非住家	床下浸水	160棟	100世帯	358人
		その他	21(2)棟		
その他	田	冠水	一時冠水	140.0ha	
	畑	冠水	冠水18.0ha	一時冠水1.7ha	
	道路	53ヶ所			
	橋りょう	4ヶ所			
	河川	18ヶ所			
	崖くずれ	11ヶ所			
	山くずれ	7ヶ所			
り災世帯数	211世帯				
り災者数	735人				

② 8.23被害

分		区		被害	
人被害	軽傷	2人			
	救助を求めたもの	2人			
建物被害	住家	床上浸水	12棟		
	非住家	床下浸水	58棟		
		その他	6棟		
その他	道路	20ヶ所			
	橋りょう	3ヶ所			
	河川	20ヶ所			
	崖くずれ	10ヶ所			
	山くずれ	15ヶ所			

【この被害状況は概数であり、調査が進むにつれて、さらに大きくなることが予想されます。】

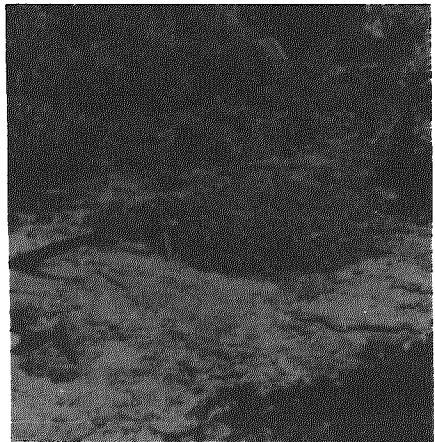
七・二八、八・二三と二度にわたる集中豪雨は、間瀬と山手地域に大きな被害を残して去りました。村では、今、この災害復旧に全力投球しています。被災された方々には、言葉にいつくせないご苦労があったと思います。心よりお見舞い申し上げます。はげしかった水魔のツメあとをカメラで追ってみました。



▲ 川と化した道路、岩室地内 (8/23)

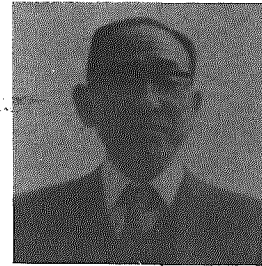


▶ 県道白根・間瀬線も土石流がおしよせ一時交通不能となった(7/28)



▲ 林道の山くずれ(7/28)

七月二十八日、午後より降り始めた雨は夕方になって一段とそのはげしさを増し、降り始めから約四時間で一〇〇ミリを超え、という集中豪雨となったのであります。



災害復旧に全力投球

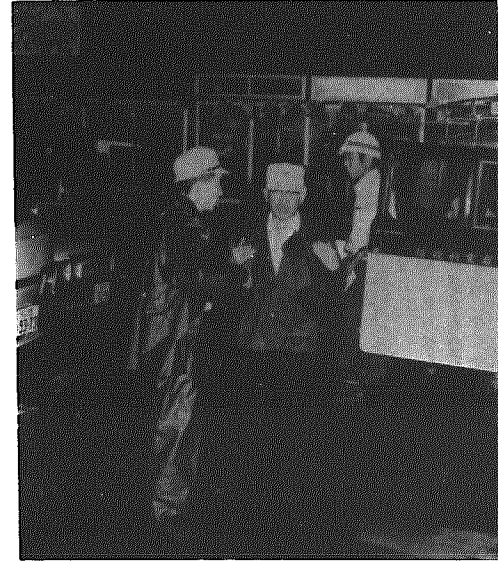
村長 金子 誠一

このため、村では水害対策本部を設置、消防団員の出動を要請して警戒にあたりました。ところが、このように短時間で想像を超えた大雨は山からの鉄砲水となっておしよせ、岩室、権吉川、石瀬、茶屋川、間瀬、下山川、坂本川、白勢川、加茂川などははんらん、付近

一帯の住家は浸水するなどのさきどなつたのであります。一方崖、ずれや、地はん陥没もいたるところに発生、被害は主に間瀬と山手地域を中心に集中いたしました。この災害から一ヶ月を経過し、すでに仮復旧を完了、本格的な復旧工事にかかるとしていた矢先、八月二十三日、午前八時から午後一時までに一二〇ミリの豪雨に見舞われ、間瀬地域はまたも

たも水魔におそわれ、大規模な崖くずれや、瞬時におしよせた土石流によって七・二八をしのぐ被害となったのであります。村としては、当面、この二度にわたる水害の修復に全力を傾注することはもちろん、早急に国県とも連絡をとりながら、徹底した治山、治水対策を講じ万全をはかる所存であります。

この大雨害によって、被災された方々に對し心からお見舞い申し上げますとともに土のう積みや、土石砂の撤去作業などに御身ご協力、ご支援いただきました消防団員や、村民各位に厚くお礼申し上げます。



▲ 対策を協議する村長 (間瀬下山で) (7/28)



▲ 白勢川のはんらんで泥で埋まった住宅 (8/23)